

独立行政法人国立病院機構
 **松江病院**
 呼吸器病センター
 〒690-8556
 松江市上乃木5丁目8-31
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019
 URL <http://www.hosp.go.jp/~matsue/>
 発行責任者
 院長 徳島 武
 編集者
 事務部長 山崎 寛



どう 鑿行列 (松江市の秋祭り)
 毎年10月の第三日曜日に開催します。江戸時代、享保9年(1724)が始まりといわれ、今年は松江城開府400年に記念し盛大に開かれます。

もくじ

第一回地域医療連携交流会を終えて	2	インフォームドコンセントに関する研修会に参加して	9
院内学術講演会の開催	3	検査室だより	10~11
医療安全管理室からの報告「医療訴訟と診療記録」	3	東病棟文化祭『きらめきinイースト』2007	12
ADLトレーニング講習会を開催して	4	筋ジストロフィー療育研修会 (在宅患者水泳指導)	12
しじみ会	4	「人間の発達と心の見方」の研修に参加して	13
第4回中国四国ブロック 国立病院管理栄養士協議会・総会に参加して	5	～最近の話題から～	14
省エネ (電気) について	6	新人医師紹介	14
『楽しかったね♪』～はじめてのサマーキャンプ～	6	人事異動	14
“看護師さんになりたい” 高校生の一日看護体験	7	松江病院の元気宣言	15
看護職員募集案内	8	外来診療表	16

 **私たちは心の通い合う医療をめざします。(職員一同)**

第一回地域医療連携交流会を終えて

経営企画室長 **ながしま** **きよし**
長嶋 潔

明治41年、前身である陸軍病院創立以来、約100年の歴史を持つ国立病院機構松江病院で、初めての交流イベントとなる、『地域の先生方との交流会』を10月11日午後7時から松江東急インにおいて開催しました。



徳島院長の開会挨拶

院長の開会挨拶で始まり、来賓を代表して信太秀夫^{しだひでお}松江市医師会長から祝辞を頂戴いたしました。その中で、「日頃は紹介状と返事のやりとりだけなので、この度の交流会のようなお互いの顔が見える機会を待ち望んでいた。」と喜びのお言葉を賜りました。

その後、現在の診療機能紹介を、内科・外科・神経内科の各医長が行いました。

多数の先生方にご参加を頂いたので、交流会々場が狭いのではと不安がありましたが、各診療科の紹介が始まると、スクリーンも近くて見やすく、会食となれば狭い席が逆に幸いし、お話が盛り上がりました。

歓談が始まり、当院の出席した医師全員による自己プロフィール紹介の後、参加頂いた先生方に、当院に対して苦言を是非ひとことづつとスピーチをお願いしましたところ、苦言は少なく、温かいお褒めの言葉をたくさん頂き、更に職員の気がつかない貴重なご意見やアイデアをたくさん頂戴できました。

お褒めの言葉：

- ☆安心して紹介できる。
- ☆紹介患者様の受診報告が早いことがいい。
- ☆病棟建替え計画がほぼ決まって良かった。



診療機能紹介

☆年4回の広報誌『宍道湖』も内輪話が多いのに結構それなりに楽しく??読んでいる。

苦言・ご意見・アイデア：

☆病院外周の草、植木の手入れがされていない。

☆交流会の開始は、先生方の診療時間を考え、もう30分遅い7時半からにすれば、もっと多く参加をしてもらえる。

☆紹介された患者様が、安来、出雲方面から当院へ来る時の道順が分かりにくい。

☆松江病院の建物は低くて目立たないし、うっかり行き過ぎてS病院やK病院に行ってしまう??。体育館やプールの存在を知らなくて活用されていない。・・・などなど。

次回からの開会時刻は、肺疾患懇話会の開催時間も合わせて参加しやすいよう検討したいと思います。また、9号線バイパスからの案内看板が必要なのも、言われてみれば気がつきますが、長年勤務している職員



当院医師の自己紹介の様様

には盲点でした。

第1回地域医療連携交流会は、事前の準備や連絡、運営等に反省する点多々ありましたが、お酒も入ってくると盛り上がり、大変良い雰囲気になり、あっという間に予定の時間が過ぎてしまいました。思った以上の大成功で1回目を終わることができ、ありがとうございました。

これからは、今回得られたご意見を持ち寄り、スタッフ皆で検討しながら、松江病院を少しでもより良くして行き、松江圏域のみならず米子から石見辺りまでの諸先生方、患者様から、今まで以上に愛される病院にしていきたいと思っておりますので、引き続きご支援を宜しくお願い致します。



院内学術講演会の開催

～「深在性真菌症」学術講演会～

内科医長 こばやし 小林 かなこ 賀奈子

平成19年7月10日、当院において深在性真菌症学術講演会を開催した。深在性真菌症は診断・治療ともに困難で特に日和見感染症として発症した場合は難治性となり死亡率が高い疾患である。その深在性真菌症に関するガイドラインとして「深在性真菌症の診断・治療ガイドライン」が2003年に公表されていたが、2007年、改訂された。エビデンスを重視して治療薬の選択基準が示され、新しい抗真菌薬も選択対象薬剤となっている。そこで今回、深在性真菌症の勉強会を企画した。コメディカルの皆さんの参加も多いと考え、「アスペルギルス症の病態」について池田呼吸器科医長にまとめてもらい、次に処方が増えている Voriconazole の製品紹介をファイザー株式会社をお願いした。そして「肺癌との鑑別が困難であったアスペルギルスによる気管支中心性肉芽腫の1例」を石川循環器科医長、

「慢性壊死性肺アスペルギルス症から急性呼吸窮迫症候群を発症した1例」を私が呈示した。この2症例は既に論文掲載となっている。また松江市立病院から「肺ヒストプラズマ症が診断契機となったHTLV 1キャリアの1例」を発表してもらった。最後に今年の4月に当院から松江赤十字病院へ転勤になった唐下先生が当院での症例をまとめ呼吸器学会でも発表した「肺アスペルギルス症に対する Voriconazole の使用経験」を報告した。矢野統括診療部長の座長のもと、薬剤、病態、症例報告、使用経験のまとめ、と演者を替え、時間も短く区切ったプログラムにしたので、テンポ良く好評であった。肺真菌症の勉強会として有意義だったのではと考えている。今後もテーマを決めて、企画していきたいと思う。

【医療安全管理室からの報告】

国立病院機構中国四国ブロック顧問弁護士 大元孝次先生による講演会

「医療訴訟と診療記録」

医療安全管理室 医療安全管理係長 くしろ 久代 れいこ 玲子

近年、医療事故訴訟が増加しており、今までも増してインフォームドコンセントが重要視されるようになってきました。



医療訴訟経験の豊かな大元先生の講演

そんな中で、日々

の診療記録はどうあることが必要なのか、「医療訴訟と診療記録」というテーマで、7月11日に国立病院機構中国四国ブロック事務所顧問弁護士のおおもと 孝次先生をお招きして講演会を開催しました。院内各部署から82名の参加者があり皆で真剣に聞き入り、アツという間の1時間半でした。

「診療録等は医療裁判において最も重要な証拠である」ことで、診療記録の欠落は医療行為が為されなかった事

を推定され「証拠不十分」として起訴されることになるというあたりのお話は、分かってはいても、つい書き忘れたり、後で...と思ってそのままになったりの現状から、身に迫るものがあり皆で日々の仕事を振り返る機会となりました。

講演会の後、大元先生に当院の現状をお話し相談した中で助言をいただいて、「口頭指示」の記載方法について検討しマニュアルを整理することができました。

今後も医療安全管理研修会を進めながら、職員皆で考

え一つずつ地道に当院の問題解決に取り組み医療事故防止に努めていきたいと思っています。



講演会の様子（皆、真剣です。）

*医療事故防止標語

忙しい時こそ、自分の気持ちに『ちょっと待て!』

平成18年院内募集標語より

ADLトレーニング講習会を開催して

リハビリテーション科 運動療法主任 ^{う だ や ま と し こ} 宇田山 俊 子

9月29日土曜日、国立病院機構 刀根山病院リハビリテーション科医長の平賀通先生と作業療法士の川邊利子先生をお招きして講習会を開催しました。



講師の平賀先生(右)と川邊先生

刀根山病院では慢性呼吸器疾患の患者さまの日常生活動作(ADL)指導に作業療法士が関わり、息切れを軽減して生活の質を上げる実績をあげておられます。当日は、呼吸リハビリテーションに関わる医師・看護師・理学療法士・作業療法士の約30人が参加しました。

平賀先生の講演では、リスク管理が重要となる呼吸器疾患の患者さまに運動負荷心肺機能検査を実施することの意義を学びました。息切れの原因を運動負荷心肺機能検査から判断して、治療方針を決定し、安全許容範囲内でのADLがおこなえるよう指導していくとのことでした。また、“患者さまと呼吸ケアチームが一緒になって”呼吸リハを進めていくという言葉が印象的でした。

川邊先生は、呼吸器疾患に対する作業療法の役割と、ADL評価とトレーニングの実際について講演されました。理学療法の場面では、呼吸法の指導や歩行訓練が中心になってしまい、入浴動作、更衣動作などの指導を具体的におこなえていないのが現状です。刀根山病院では実際の入浴場面に作業療法士が立ち会い、動作を細かく

分析し、各動作時のSpO₂・脈拍数・呼吸数・かかった時間などをチェックします。その評価結果からケースに適した動作の指導が行われます。なかなか根気の要る作業だなあと感じましたが、この過程が大変重要です。呼吸器疾患の患者さまは麻痺があって体が動かせないということはありません。それだけに日常やっていることに対しての問題意識が少ないようです。データを提示し自分の病態を理解してもらい、自己管理が行えるよう患者教育をすることが大切とのことでした。

実技では、実際の入浴動作を行ってもらいどこに息苦しさを引き起こす要因があるかを観察し、どう改善したら良いのかを考えました。動作は個々に違っています、それを大きく変えるのではなく、必要最小限にすることや具体的に指導する(例えば、洗髪は片手で行う)などのポイントを教わりました。

ADL指導には病棟での動作観察が重要であると改めて感じました。

参加者からは日頃疑問に感じていることなどの活発な質問がなされ、有意義な講習会となりました。

最後に、講習会終了後、ライトアップされた松江城や堀川の幻想的な水燈路をご案内することができました。松江の魅力もしっかりと感じていただけたことと思います。



講習会風景

しじみ会 (八月夏の号)

平成19年8月1日号

作業療法士 ^{た て い し よ う こ} 立 石 葉 子

鶏の 夜明けを告げる 床恋し
帯石会長

夕焼けに うかぶ北山 茜色
白イルカさん

手紙来て メールと違う 温か味
となりの住人

爽やかな 風に誘われ 散歩道
須山さん

清流に 遊ぶ子供の 笑顔かな
やどかりさん

爽やかな 風に吹かれて 昼寝かな
おちゃめなスイートピーさん

名月や 友とビールで 月見かな
永島さん

この庭で 生まれし蝉の 蝉しぐれ
けんーさん

赤ちゃんは 大人の心 洗ってる
「K」さん

白き粉 思い出包み 団子なり
「M」さん

道端の 四葉クローバー 押し花に
岡さん

しじみさん ご用の船に つかまるな
堀内さん

盃蘭盆に 故郷思い 手を合わす
京の静さん

「しじみ会」は当院に入院されている筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者様が俳句・川柳などを楽しむ会です。

第4回中国四国ブロック 国立病院管理栄養士協議会・総会に参加して

栄養管理室 主任栄養士 やなぎ たに のり ひで
柳 谷 憲 秀



協議会風景

9月29日（土）30日（日）の2日間、岡山市で開催され、村上栄養管理室長・伊東管理栄養士・私の3名が参加しました。

この協議会は、昭和34年に『国立病院療養所栄養士協議会』として設立され、ブロック（地区）活動も中国・四国が別々に活動していましたが、独立行政法人化に伴い『全国国立病院管理栄養士協議会』へ変更され、ブロック（地区）も中国・四国が統合となり、ブロック会員数約90名で活動し、今年で4年目を迎えました。

初日は総会后、濃厚流動食製造販売メーカーの講師をお招きし、『褥瘡と栄養ケア』の内容で、最新の栄養トピックスを絡め、特別講演を行っていただき、新しい濃厚流動食（半固形タイプ）の商品説明・展示等も行われました。

その後は、今回参加した会員がそれぞれの役職・経験年数に応じて、職長会（室長）・中堅会（主任・7年以上）・かたりべ会（新卒～7年未満）の3つの会に分かれ、職長会『栄養管理実施加算算定と現状と監査に耐える計画書』、中堅会『栄養業務をデータ管理・蓄積することで、次期診療報酬改定へ向けて根拠のある要望事項作成に繋げる』、かたりべ会では、『マイトピックス、情報や意見交換等』といったそれぞれのテーマで、意見、討議を行いました。

職長会の栄養管理実施加算（計画書）については、実際に監査を受けた施設から、他職種（医師・看護師等）との連携、再評価、記入の方法等といったことが、指摘事項としてあげられ、どういった対応策が必要か話し合わせ、『監査に耐えうる、そして内容（質）の向上』についてブロック全体で取り組んでいくことでまとまりました。

中堅会は、私も参加しましたが、診療報酬点数・物品請求といったデータ管理をどのように行っていくか、会議資料作成・要望事項作成に繋がるかを話し合いました。

施設のタイプも違い、それぞれ抱える問題も様々あるため、同じ様にデータ管理を行うことは難しいこともかなりありますが、既にデータ管理（エクセル処理）を行っている施設で利用しやすいものがあれば利用させてもらい、ブロック全体で一つの資料が作成できるよう、取り組んでいくこととなりました。

各施設共、主任（中堅）という立場は、室長を補佐する傍ら、日々業務に追われていますが、今後室長になるときの心構えがかなり必要であると感じました。

かたりべ会では、約5～6年を経験する栄養士（かたりべ）が、新人や経験年数の少ない栄養士に向けて、今まで自分が歩んできた道、悩み事、苦労話や経験談を語ることにより、施設間の壁を取り払い、共感し、少しでも悩みを解消でき、若手同志の交流の場となったようです。

どの会も、活発な意見・討議が行われたため、時間が少なかったようで、初日最後の懇親会においても、所々で意見交換が行われていました。

2日目は、平成20年1月に岡山市で開催（中四国ブロック担当）される『第4回 国立病院栄養研究学会』のシミュレーションを兼ね、研究発表を行いました。事前に決定した役割分担で、会場・媒体準備、受付、司会進行、照明、音響等の確認を各自が行いながら進行させ、終了後に反省会・確認をもう一度行い、ブロック協議会は閉会しました。

2日間でしたが役割や内容が多く、帰路へ向かう電車では、疲れが一度に出てしまいましたが、今まで以上に充実した協議会でした。

栄養士は各施設人員が少なく、求められるものが多い職業ですが、このような会を通して、他施設との意見交換をもっと活発にし、共有できる場所は共有し、参考に出来るところは取り入れ、今後の業務に生かしていきたいと思えます。



特別講演の様子

第4回 国立病院栄養研究学会 OKAYAMA2008のご案内 テーマ：『チーム医療としての栄養管理の確立とスキルアップを目指して』

開催日時：平成20年1月26日（土）13：00～

平成20年1月27日（日）12：00迄

場 所：岡山国際交流センター 岡山市奉還町2-2-1 TEL086-256-2905

※管理栄養士・栄養士養成学校の学生の方のご参加をお待ちしております。

省エネ（電気）について

企画課長 ^{たか}高 ^た田 ^{ゆき}幸 ^{はる}春

当院の常時契約電力は今まで、「500 K w以上」で更に「業務用高負荷率TOU」が該当し、「712 K wの長期契約」を締結していました。



導入された省電力システム

しかし、昨年の8月に契約を20 K wオパーの732 K w

を計測してしまいました。本来であれば、即時にデマンドの変更契約を行うべきでありましたが、デマンド監視モニター増設による監視強化によるデマンドのコントロール消費電力の大きい温冷配膳車の運転開始時刻調整による最大需要電力の低減化節電方策の導入の3点の計画を電力会社に申し立てることにより、引続き「712 K w」で契約できました。

この節電方策のひとつとして省エネ機器であるインバータシステムを活用した「省電力システム」を本年7月から導入しました。

当院では導入後の省エネ節減効果を踏まえて、デマンドのマイナス契約を検討したところ、現行の「712 K w」契約から60 K w減の「652 K w」での契約に本

年9月から変更することができました。

今夏の記録的な猛暑の連続により、デマンド契約のプラス変更を余儀なくされている施設もあるかと思いますが、当院は幸いにも「省電力システム」導入等のおかげで、逆にマイナス契約となりました。

この省エネによるマイナス契約の主な要因としては、

- (1) 本年7月から冷温水発生装置をインバータ制御としたこと。
- (2) 温冷配膳車のスイッチを投入するのに5分くらい時間差を設けたこと。
- (3) 病院情報システム更新によりディスプレイがブラウン管から液晶に変わったこと。
- (4) 放射線治療のマルチ冷房装置を更新したことによりインバータ制御となったこと。

の、以上4点が考えられます。



システムパネル

なお今回のデマンドのマイナス変更契約により、年間150万円の基本料金を節約することができました。今後も引き続き経費節減について努力して参ります。

『楽しかったね♪』～はじめてのサマーキャンプ～

8月25日・26日。ぞうぐみさんのお泊まり保育に代わる行事として、“サマーキャンプ”を催しました。ぞうぐみ4家族+職員の総勢22名が参加。星上山スター



夕飯作りに奮闘中…

パークのバンガローにパパ・ママ・兄弟姉妹と一緒に一泊しました

標高高い山の上で、お散歩、虫捕り、バーベキュー、花火、肝試しとお楽しみも盛りだくさん(^ ^)食事もお給自足！子供達は自分でおにぎりを握り、ヤキソバ、焼肉等も家庭の味の合作で、絶景をバックに箸も進みました♡偶然にも打ち上げ花火を見る事も出来て、秋の風を感じながらまさに命の洗濯でした

そしてドキドキの夜 お父さんお母さん、そしてお友達も一緒にバンガローでは二階の二段ベッドに大・興・

さくら保育園 保育士 ^{ふく}福 ^{しま}島 ^{あき}晶 ^こ子

奮！20時就寝の予定がすっかり気が高ぶった子供達は23時を回っても元気モリモリ また、親睦会ではお父さん達からお母さんとの馴れ初め話♡♡が飛び出したり、職員とお父さんが同級生だったり のビックリ話もあって、しっかりと親密度がUP

翌朝は6時起床。夜更かしもなんのその、さすが若い！日本海まで見渡せる展望台までお散歩をして、朝ごはんも美味しく食べて、あっという間の1泊2日でした。キャンプの話題は2ヶ月以上経った今でも子供達の話題にのぼっています

これからも楽しい企画をじゃんじゃん立てて、たくさん思い出を作りたいと思います♡

お父さんお母さん、お忙しい中の協力ありがとうございました



皆で食べると美味しいネ

園児募集

院外者の園児も募集しています。お気軽にご相談ください。

国立病院機構松江病院 **さくら保育園**
電話21-6131〔内線206(坂本)・508〕

随時募集

"看護師さんになりたい" 高校生の一日看護体験

第10病棟 看護師長 ^{いし}石 ^{かわ}川 ^{かず}和 ^え枝

私たち看護部は、毎年7月に地元の高校生を対象に看護体験を実施しています。今年は7月26日に6名の方が体験参加されました。

この体験を通して高校生の方に、将来の進路選択の中には是非「看護師」という職業を加えてもらえたらと思っていました。うれしいことに今年参加された6名全員が看護師になりたいと考えているばかりで、積極的に体験されていました。中に毎年当院の看護体験に参加している方がいました。3年目の今年、初めて患者様の血圧測定を行い、「緊張したけれど、感動した。」と話す場面がみられました。テレビで見たり聞いたりするのと違い、実際現場の中に入って見て看護師のチームワークの良さや機敏な動き、観察力等を身近に感じて看護師に対する思いを新たにされているようでした。

医療が高度化するに伴い、看護師はまだまだ足りない現在、「看護師になりたい」という若き高校生の将来のきっかけになってもらえたらと感じました。

また来年も趣向を凝らして高校生の一日常護体験の場を提供していきたいと思ひます。

看護体験に参加して

松江商業高校3年 ^{ふく}福 ^{しろ}代 ^{まりこ}麻里子



担当された病院職員の皆さんと記念撮影

今日初めて国立病院機構松江病院で看護体験をさせていただいて、一日看護師さんになれたような感じがしてすごく嬉しかったです。看護師さんは、私たちが今日体験したことの他にまだまだお仕事があると思いますが、もっと他のお仕事をされている所を拝見したいと感じると同時に、早く私も看護師になって実際にお仕事をしたいなと思ひました。



血圧測定修行中…

家族がこちらの病院に入院した時も、看護師の方にお世話になっており、今日実際に看護師の方に会い、指導していただ

たことに感謝しています。

血圧測定は、2度目の体験でしたが、すごく分かりやすい説明だったので1回目よりも上手に測ることができたと思ひます。手浴では、実際に患者さんの手に触れることで、初めて会った患者さんとの心の距離がぐっと近づいた気がしました。散歩は、初めてでしたが、患者さんが「元気になったわ」と言われた時に、「ああ、気分転換は大切なんだなあ。患者さんに負担をかけない程度でもっと色々な物を見せてあげたいな」と思ひました。

患者さんひとりひとりに気を遣い、しっかりと顔色を見て声を掛けておられる看護師の方を見て、私もこんな素敵な看護師になりたいと思ひました。

また、もし私が呼吸器疾患などの病気にかかったら、この病院で看護師の方々、先生方にお世話になりたいです。

今日は半日でしたが、すごく充実した時間を過ごすことができ嬉しく思ひています。

将来は、今日お世話になった看護師の方々の様な、笑顔の光る素敵な看護師になりたいと強く思ひています。

ありがとうございました。



患者さんとの1シーン (手浴)

看護職員 募集案内

■ 処 遇

- 1.身 分 国家公務員
- 2.給 与 基本給(看護師)
 - 初任給 ●大学4卒 196,000円~221,000円
 - 短大3卒 186,700円~211,700円
 - 短大2卒 178,300円~203,300円
 - 諸手当 ●夜間看護手当
 - 業績手当(ボーナス)
 - 住居手当
 - 通勤手当
 - 専門看護手当
 - その他規定に基づき支給
- 3.休 暇 ●4週8休
- 年次有給休暇 有
- 夏季休暇等の有給休暇 有
- 4.勤務時間 週40時間
 - 日 勤 / 8時30分~17時15分
 - 準夜勤 / 16時15分~ 1時
 - 深夜勤 / 0時30分~ 9時15分
 - ※その他、早出勤務・遅出勤務あり。
- 5.福利厚生
 - 院内宿舍 有
 - 院内保育所 有
 - 職員駐車場 有
 - ユニフォーム無償貸与

■ 募 集 内 容

- 1.応募資格 / 平成20年3月に看護師養成機関を卒業見込みの方
看護師の免許を有する方
- 2.募集人員 / 10名
- 3.採用予定日 / 平成20年4月1日
- 4.選考方法 / 筆記試験及び面接
- 5.必要書類 / [平成20年3月に看護師養成機関を卒業見込みの方]
 - ①添付の履歴書
 - ②在学中の養成機関の成績証明書
 - ③卒業見込み証明書
 - ④既に取得している免許証の写し(該当があれば)
 - ⑤在学中の養成機関へ入学する前の養成機関の卒業証書の写し、又は卒業証明書(該当があれば)
 - ⑥返信用封筒2通(長形3号封筒(縦235mm、横120mm)に、住所氏名を記入し、300円分の切手を貼ったもの
※受験票及び可否通知書の発送に用います。
- [看護師の免許を有する方]
 - ①添付の履歴書
 - ②既に取得している免許証の写し
 - ③返信用封筒2通(長形3号封筒(縦235mm、横120mm)に、住所氏名を記入し、300円分の切手を貼ったもの
※受験票及び可否通知書の発送に用います。
- 6.提出先 / 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号
独立行政法人国立病院機構松江病院 管理課 庶務係係長
TEL 0852-21-6131(内線208)
FAX 0852-27-1019
- 7.提出期限 / 選考日の2週間前まで(必着)
- 8.選考日程等 / 日時 ①平成19年12月13日(木)
②平成20年2月7日(木)
場所 独立行政法人国立病院機構松江病院 会議室
- 9.可否発表 / 可否の連絡は、受験日から10日以内の予定です。

■ 交通のご案内



- JR山陰本線 松江駅から市内バス 約10分
*古志原行・大庭行・八重垣行・国立病院行 国立松江病院前下車
- JR松江駅からタクシー 約10分
- 山陰自動車道 松江中央出口から 約8分

本案内とは別に、随時若干名の看護師募集を行っています。詳細につきましては、
独立行政法人国立病院機構松江病院
管理課 庶務係長 TEL 0852-21-6131 (内線208)
までお問合せください。

インフォームドコンセントに関する研修会に参加して

第1病棟（一般）看護師長 山藤美穂 さん

平成19年7月6日・7日の2日間、国立病院機構本部中国四国ブロック事務所主催のインフォームドコンセントに関する研修会が国立病院機構東広島医療センター



伝達講習風景①

で開催され、参加させていただきました。1日目は講義、2日目はグループ討議があり、今回のインフォームドコンセントに関する研修会では主に「がん告知から緩和ケア導入における看護師の役割・コミュニケーション」について学びました。

最近、ほとんどの方にがん告知がされるようになってきました。しかし、時には先にご家族の方に病状説明される場合があります。そのため、本人には本当のことが伝えられず、医療者や、家族に不信感を抱かれることがあります。そのため患者様は孤立してしまい、ご家族も嘘をつくことに疲れて果ててしまうというような現実もあります。その様な中で、最期を迎えられることは患者様やご家族にとっても大変つらいことと思います。患者様に本当のことを告げることで、一時的に気持ちの落ち込みや不安が出てきても、時間の経過や周りの人たちの支えで立ち直ることができる。多くの人はそういう力を持っていると話されました。私も長い臨床経験の中でそれを感じていましたが、今回の研修でさらにその思いを強くしました。

ご家族が本人に伝えることを拒まれる理由の中に、ご家族の方も不安で、大切な人を悲しませたくないという

気持ちを持っていると話されました。私達医療者は、ご家族の不安な気持ちを理解して、安心感を持ってもらえるよう説明したり、関わりを持つことが大切であると思います。そうすることによりご家族・医療者で協力して患者様を支えることができるのではないかと考えています。

また、再発を告げられる時は、癌を告知された時よりもさらに衝撃は大きいと言われました。その時に医師から説明を受けても、「頭の中が真っ白になって何を話されたか覚えていない。」と言われることがほとんどです。また、治療についての説明を受けられた後も「こんなことは聞いていない」と言われることもあります。そのような時、患者様が落ち着かれた後どのような気持ちであったのか、どのように説明内容を受け止められたのかを伺い、補足説明を行なう、また場合によっては再度主治医から説明をしてもらうようにすることが看護師の大切な役割のひとつであると学びました。

患者様・ご家族の気持ちは、状況や、病気の経過によって日々揺れ動いています。折に触れて患者様・ご家族の希望を確認し、



伝達講習風景②

状況に応じて医療者からの説明、またはカンファレンスを行なって情報の共有や支援方法について話し合いをすることが重要と思います。そして患者様・ご家族が納得されて医療を受けられるように、私達医療者がチームでサポートしていきたいと考えています。

飲酒運転は根絶しましょう！

「飲んだら、乗るな、乗らせるな」古い標語ですが、現在は「乗らせた」人に対しても罰則が適用されます。年末を控え、アルコールと接する機会が増えますが、「この位大丈夫…」とか、「見つからなければ…」と考えることが自らに災いを招きます。ご用心、ご用心。



検査だより

研究検査科 臨床検査技師長 **たつ辰** **しま島** **じゅん純** **じ二**

研究検査科理念

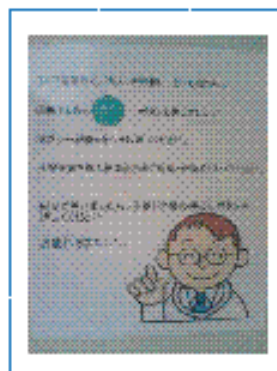
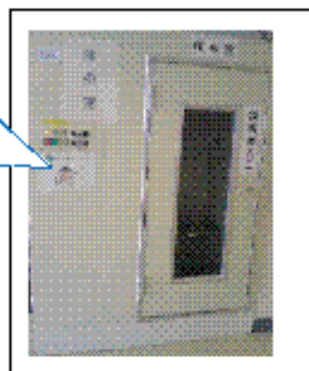
科学的根拠に基づいた医療を提供するため、確実で質の高い検査サービスを提供できるよう努めます。
 心のこもった検査サービスを提供するため、専門職として私達自身が責任を持って検査にあたります。
 心の通い合う医療を提供するため、常に和を持って臨床検査サービスが提供できるように努めます。
 効率的で、効果的な検査サービスを提供するため、連携と意識と品質の向上に常に努めます。

▽△▽△▽検査室、表示リニューアル！！▽△▽△▽

探検室の表示をわかりやすく、また、生理検査室に睡眠時無呼吸症候群のパンフレットをおきました。わかりづらいところがあったらどんどん指摘してください！！できる範囲内ではありますが、改善していこうと思っています。

生理検査室前

睡眠時無呼吸症候群のパンフレット



<臨床検査技師長の言葉> 検査科では「より親しみ易い医療施設」に向けたスタッフ一人一人の思いを小さな事でも大切にし、実践しています。少しでも利用者の目線に沿った改善ができ、喜んでいただけることを目指しています。皆さんも、ご利用者の観点で、わかりづらいことや不便ではと言うことは気軽にご指摘下さい。今は外来患者様が生理検査と喀痰・検尿検査の所で困ってられることが多く、良い方法がないか思案中です。

シリーズ検査室紹介

今回号からシリーズで検査科各部門を紹介していきたいと思っております。トップバッターは細菌検査室です。検体検査室と生理検査室との間に存在し独特の雰囲気を感じさせています。

☆ 永原圭子と鈴木晶子、二人で担当しています☆

永原・・・抗酸菌検査担当です

鈴木・・・一般細菌・PCR 検査担当です

細菌室の紹介

細菌検査結果の報告について

一般細菌検査報告は **3～10 日** です

血液・胸水・気管支擦過などは、**1 週間培養し判定**

PCR 検査は週に 1～2 回実施し **1 回の操作で 8 時間** を要します。

抗酸菌塗抹検査は、**24 時間以内** に報告します。

抗酸菌培養検査 液体培養 **6 週間**・固形培養 **8 週間**

⇒培養陽性時報告

抗酸菌薬剤感受性検査

プロスミックは前処理後 **1-2 週間必要**

耐性結核菌の場合、ウエルバック培地は前処理後 **1 ヶ月判定**

PZA 液体培地は前処理後 **1 週間判定**



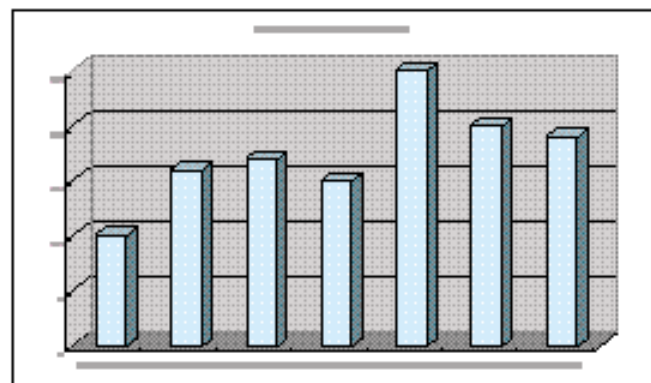
出入口から入って左手にある孵卵器は 1955 年製でこのタイプの孵卵器が現役なのは珍しいと思われます。一度、見学に訪れてください。



安全キャビネット内で結核 PCR の準備中の技師

大盛況の第 1 回健康フェスタ

9 月 22 日、ボランティア参加を含め、第 1 回の健康フェスタが、松江サティ前で行われました。当日は強い日差しで、とにかく暑い！！13 時からの予定でしたが、20 分位前から少しずつ人が集まってきました。検査科は、肺活量の検査を行いました。当初は、40～80 人でできればいいかなと思っていましたが、結局、終わるころには 125 人になっていました。肺活量の検査は少し時間がかかるので、長く待つ方もおられましたが、やっぱり自分の健康は気になるからか、じっと待ってくださっていました。暑い中でしたが、みなさんに喜んでもらえて、よかったです。



東病棟文化祭『きらめきinイースト』2007

療育指導室 児童指導員 ^{なお}直 ^え江 みゆき

うららかな秋晴れの10月14日(日)に東病棟文化祭を開催しました。

今年は「地域とのコラボレーション」をテーマに皆様との関わりをより一層深めていきたいと思い、実行委員と療育指導室が中心となって準備を進めて当日をむかえました。午前のオープニングでは、開会宣言、院長先生の挨拶、そしてコールメリー合唱団による素敵な歌声を聞きました。その後、みんなが会場を回り交流を深めたり買物を楽しんだりしました。患者さんの作品の陶芸や七宝焼、オリジナルのTシャツなどの販売。模擬店はカレーライス、焼きそば、たこ焼きなどを家族の方やボランティアの皆さんが担当してくださいました。院外からも福祉作業所やカクテルバー等の出店があり、文化祭を盛り上げて



ゴスペルオープのミニライブ

てくださいました。

今年は文化祭のプレートを持って写真を撮り、皆さんに紹介しました。その写真に写って

いる笑顔！！その笑顔を見るとこの文化祭に楽しく参加していただいた様子が伺えます。そして、その笑顔あふれる会場に行かれた患者さんはいろいろな出会い、様々な体験ができ、又、楽しく素敵な時間を過ごすこともできたと思います。

午後は「ゴスペルオープ」のライブ、歌と踊りのパフォーマンスにより、会場が一体となってゴスペルの世界にみんながひきこまれ、アンコールの曲は観客も一緒に歌って踊って、素晴らしい文化祭のフィナーレを飾ることができました。

「ゴスペルオープ」のミニライブは東病棟でも開いていただきました。病棟に素敵な歌声が響き、楽しいひとときを過ごすこともできました。

最後に、今年の文化祭のテーマは、「地域とのコラボレーション」でしたが、いろいろな場面で多くの人と出会い、共に楽しみ、笑顔があふれる素晴らしい行事となりました。事前の準備に携わっていただいた皆さん、また、当日協力していただいた皆さんに深く感謝いたします。なにより、文化祭を無事に終了する事ができ大変よかったです！

筋ジストロフィー療育研修会（在宅患者水泳指導）

療育指導室 水泳指導員 ^{おがさわら}小笠原 ^み美 ^{ゆき}幸



当院自慢のプールです。

更に職員との交流を目指して、7月22日(土)～23日(日)の1泊2日の日程で、日本筋ジストロフィー協会（以下日筋協）主催の療育研修会「水泳キャンプ」が和やかに催されました。このキャンプは、毎年恒例行事として当院が協力依頼された形で実施され、中国地区の在宅患者さんの状態把握や当院の水泳指導のアピール、病院紹介にもつながるので、小児科を初めリハビリテーション科、療育指導室で積極的な協力体制をとっております。

当院のプール指導の柱でありますハロウィック水泳法を通して、中国地区の在宅筋ジストロフィー患者さんや家族同士、

そして、カルテ作成で事務の方も関与するなど、直接的に病院全体で協力、連携がとれるからこそ、毎年継続されている「行事」だと言えます。更に、筋ジストロフィー家族会の会長さんを始め家族会有志の皆さんが、食事づくりのお手伝いをしていただけるなどの土台の支えがあるから続いているのだと思います。水泳キャンプの企画者の一人として、関係者の皆様方には心から感謝申し上げます。

さて、今回の参加者は患者と家族と日筋協及び当院スタッフで総勢40名になりました。

訓練センターで開会式を執り行い、日筋協の中国各県支部長さんからご挨拶を頂き、参加者全員の自己紹介を経て患者さんひとり一人に専属スタッフが付き、『久しぶり。今年もよろしく。』などの声が飛び交う中で療育研修会「水泳キャンプ」が始まりました。

今年も「ハロウィック水泳法」の講師を広島から招き、当院リハビリと指導室スタッフと共に患者さんやご両親

に指導を行いました。ハロウィック水泳法は、浮き輪などは一切使用せずに最小限の補助で、いかにリラックスして体を動かすことができるかというものです。又、呼吸をコントロールするという点でも重要な役割を果たしています。患者さんには、水中だからこそ出来る身体の動きや新たな活動に楽しさを感じて頂けたのではないかと考えております。

夜は家族会有志の方による手作り夕食をとりながら交流会を過ごし、体育館で家族揃ってのゲーム大会と最後に中庭で花火を楽しみました。日中の水泳と夜のレクリエーションを通して保護者同士、子供同士、保護者と職員との意見交換や交流が広がり、大いに盛り上がった

「水泳キャンプ」の初日でした。

翌日の午前中にもう一度水泳指導を行い、全員元気に全日程を無事に終えることができ、「来年も是非参加したい。」という参加者からの声も聞かれ、有意義な充実した水泳キャンプ研修会となったかなと思えました。

関係者の皆様方、ありがとうございました。来年もよろしくお願い致します。



泳法指導中

「人間の発達と心の見方」の研修に参加して

東5病棟(筋ジス) 看護師 小 笹 美 紀

7月21日(土)に看護部教育会の研修で中京大学教授の鯨岡峻先生の講演がありました。今回はより多くの方に参加して



鯨岡先生の講演風景

もらえるように、土曜日(時間外)に開催し、事前に看護部以外の職種の方にも研修参加を呼びかけました。その甲斐あってか、当日は看護部55名、他職種4名、計59名の方に参加していただきました。

当日は天候の不具合で講師の先生の到着が遅れ、公演時間が予定の3時間から2時間に変更となり、短い時間で少し残念ではありましたが、貴重なお話をたくさん聞くことができ、とても参考になりました。

人は誰もが「育てられる者 育てる者 看取るもの 看取られるもの」と世代から世代へ循環し、その過程の中でそれぞれ成長していくと言われました。心の発達、子供だけが成長して発達していくのではなく、大人になってからも人との関わりなどを通して、発達していくことがわかり、私自身、これからの人生でまだまだ成長していけるのだと感じ、とても嬉しく思いました。

心は幼少期に土台ができ、心の発達において幼少期はとても大切な時期であり、また心は、自分のものでありながら自分で育てることはできず、愛されているかどうか、可愛いと思われているかどうか、大事に思

われているかどうかなど、周りの人の思いで子供の心は育つことを知りました。人は一人では幸せにはなれず、幸せに生きられるかどうかは、親や周りの人がその鍵を握っているという事がわかり、親になるということはとても責任重大であると改めて感じました。そして私が親になったときには、自分の子供に沢山の愛情を持って育てていこうと思えました。

また、子供の心を育てるには、子供を主体として考え、子育てをすることが大切だと言われました。このことは看護の場においても同じで、患者様を主体として受け止めることが、看護の最も重要な部分になることがわかりました。日々の看護の中で、自分の気持ちを押し付けるのではなく、患者様の思いを知り、尊重し思いに沿った看護を行うことが大切だと改めて感じました。

今回の研修は、プライベートや日々の看護にも活かせる内容で、この研修に参加できとても良かったです。参加者の感想として「仕事が休みだったので、ゆっくり聞くことができた」

「今日のように日中ゆっくり時間がとれる研修が年に何回かあると参加しやすい」という声が聞かれ、今回の時間外研修はとても好評でした。

今後毎年1回程度は、時間外の研修を計画していきたいと思えます。



多勢の皆さんに参加して頂きました。

～最近の話題から～

10月21日、松江市で行われた「全国筋無力症友の会 島根支部」主催による医療講演会で、島根県難病医療拠点病院である当院の足立芳樹医局長・神経内科医長が、『最近の診断と治療』という演題で、友の会の会員ほか30名の皆様に講演を行いました。

重症筋無力症は20年前の全国調査によれば、10万人当たり5.1人が罹患されており、松江圏域内では、10人程度が罹患されるということとなるそうです。ちなみに欧米ではもっと多くの方々がこの病気

にかかっていると云われています。

この病気の症状として最も多いものが、「もの」が二重に見える(特に横を見ると)、まぶたが下がってくる、などの眼の症状です。これらの症状が特に疲れたとき出てきたら、この病気の可能性がありますので早めに神経内科を受診された方が良いと考えます。

最近の治療成績は大変良くなり、早期に発見すれば適切な治療が受けられます。

また、この病気の症状は、手足の筋力低下や、呼吸困難、嚥下困難、鼻声として現れることもありますので、ご心配なようでしたら当院の神経内科を受診してみてください。

みなさん、こんにちは。消化器内科医として平成19年9月1日より採用いただきました石原孝之です。出身は島根県仁多郡横田町です。(最近、市町村合併で奥出雲町となりました。) 出身大学は鳥取大学医学部(昭和55年卒)、京大薬学部(昭和46年卒)です。医学部卒業後、鳥取大学附属病院にて消化器病研究をした後、松江市立病院や国立米子病院、国立三朝温泉病院などを経て町立奥出雲病院へ帰郷したのですが、そこで父母を看病した後、やはり国立病院が自分には合っているなァと感じていた所、当病院からお誘いを受け、お世話になる事になりました。趣味は社交ダ

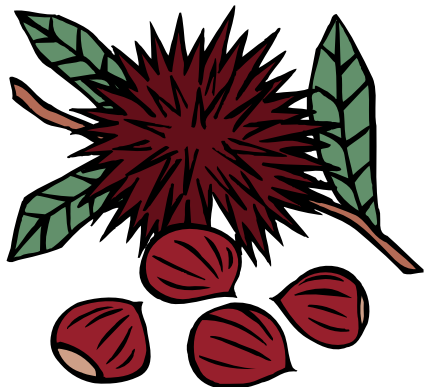


消化器科医長 石原 孝之

ンスで、時々競技会に出て技術を磨いておりますが、仲々、上には上があるものです。

専門分野としては消化器内視鏡に興味を持って長い間やって来ておりまして、今まで大腸カメラを約2000例、胃カメラを約10000例位実施しております。

当病院は、呼吸器病の専門の先生が多いので心強い限りでありまして、色々と相談させていただきながら、一方で、消化器疾患を診断・治療して当病院の一助となれば嬉しく思う次第です。何分不慣れでご迷惑をお掛けする事もあるかと思いますが、よろしくお願いたします。



●●●● 松江病院の元気宣言！ ●●●●

～「第1回健康フェスタ」が開催される～

企画課 業務班長 ^{くすのき} 楠 ^{たくみ} 巧



案内看板「無料」の
貼り紙がお洒落？

今年度、当院が掲げる推進項目の一つに「広報活動」の強化があります。

今までも、病院を広報するためにこの広報誌、「宍道湖」の充実化を始め、多くの事を行って参りましたが、まだまだ地域住民の皆様方に広く認識していただくところまでには至っていないのが現状でした。

そこで打ち出した方策というのが、「地域の皆様に病院をPRするためには、病院の方から皆様の所へ広く飛び出して行こう！」というものでした。

まず、第1弾として行ったのが、5月の「看護の日」の行事を病院の敷地から初めて出て、近隣のスーパーストアの玄関前広場にて開催させていただきました。この行事の詳細については、前号（第131号）の「宍道湖」に掲載しておりますので、ここでは省略させていただきます。

続いて第2弾としては、6月に松江市内にある【くにびきメッセ国際会議場】で行った「2年目の呼吸器市民公開講演会～肺がんフォーラム～」でした。こちらの行事についても詳細は、同様に前号の「宍道湖」に掲載しておりますので、ここでは省略いたします。

そして今年当院が院外で新たに開催した広報イベントが、タイトルの「第1回健康フェスタ」です。

「健康フェスタ」は、「市民の健康づくり運動を展開するための一環として健康づくりを応援するイベントを行うことを目的とし、併せて松江病院の診療機能を紹介するために、平成19年9月22日（土曜日）午後1時から午後5時までの4時間、スーパーストアの松江サティ玄関付近で開催しました。

なお活動内容は、市民の皆様が買い物ついでに健康測定【肺機能測定、血液ガス測定（経皮的酸素飽和度測定）、骨密度測定、



徳島院長、石川医長による医療相談

体成分分析測定（体内脂肪測定を含む）、血圧測定】や健康相談【医療相談、お薬相談、栄養相談】を無料で入るといえるものです。

さて開催状況についてですが、当日は朝から雲行きが非常に怪しくて、午前中は雷鳴も轟くほどの空模様で、野外で行うイベントとしては「お先真っ暗」という状況でした。

幾分か天候が持ち直したため開催の実施を決定し、お昼前にはテントを張り、各種測定機器の搬入・設置も無事終了したのですが、今ひとつ天気が回復しないまま、開催時刻の午後1時を迎えました。

始まるまでの準備中は、いったい何人の方が訪れて



「骨密度測定」待ちの皆さん

いただけるのかとも不安でしたが、いざ始まってみると、次から次へと人の波が途切れることもなく続いて、心配が杞憂に終わりホッと胸をなで下ろしました。

健康測定の中でも、特に「骨密度測定」、「体成分分析測定」については、一人当たりの測定時間をかなり要するにもかかわらず、大変な人気を博しており、多数の測定待ちの人々が出現する状況となっております。

また訪れた人の中には、『こんな良い機会は滅多にないわ。』と口ずさみながら、各々の健康測定を受けた後に「医療相談」、「お薬相談」、「栄養相談」とフルコースを堪能された方も何人かはおられ、その後に『自分の健康にもっと注意を向けなければいけない。』と反省の弁を述べられていた人が多くいました。

さて各種の健康測定並びに相談の実施件数ですが、医療相談：60件 お薬相談：17件 栄養相談：28件 肺機能測定：125件 血液ガス測定：90件 骨密度測定：160件 体成分分析測定：117件 血圧測定：308件 という結果でした。

当日イベントに携わった職員の数、自発的参加も含めて総勢31名の規模でしたが、事前の準備段階から後片付けの人数を含めると、更に数十人がこのイベントを成功させようと一致協力してまいりました。

今後は、アンケートの反省点を分析・克服し、更なる充実を図り、来年第2回の「健康フェスタ」の成功を目指して、職員一同協力して参りたいと思います。

外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成19年10月1日現在

診療科	日	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器科	矢野	小林	徳田	服岡	池田	【呼吸器科】 竹山 博泰 矢野 修一 池田 敏和 小林賀奈子 徳田 佳之 若林 規良	【副院長】呼吸器一般・アレルギー 【統括診療部長】呼吸器一般(肺循環・肺がん・結核他) 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 内科一般
	若林		竹山	竹山			
	石川	徳田	池田	矢野	小林		
循環器科	石川					石川	【循環器科】 石川 成範 循環器科一般
消化器科		石原					【消化器科】 石原 孝之 消化器科一般
神経内科		下山			足立		【神経内科】 足立 芳樹 下山 良二 神経内科 神経内科・リハビリテーション
外科	徳島		中井 目次			荒木	【外科】 徳島 武 目次 裕之 荒木 邦夫 中井 勲 【院長】呼吸器外科・胸腔鏡下手術(肺がん・自然気胸他) 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
小児科	発達 専門外来	久保田 (予約)	齋田 (予約)	齋田 (予約)	久保田 (予約)	齋田 (予約)	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 重度心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害
	予防接種		(予約)				
肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【放射線科】
睡眠時無呼吸 外来					呼吸器科 担当医(予約)		
息切れ外来		呼吸器科 担当医(予約)					
喘息 アレルギー外来			竹山 (予約)	竹山 (予約)			
咳嗽 外来			竹山 (予約)	竹山 (予約)			
禁煙 外来			竹山 (予約)	竹山 (予約)			
アスベスト 外来			竹山 徳田 (予約)	竹山 (予約)			
嚔下障害 外来		下山 (予約)					
神経難病 外来		下山			足立		
筋ジストロフィー 専門外来					下山 (予約)		
セカンド オピニオン 外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	

診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30
自動再来受付 7:30~11:00



独立行政法人国立病院機構 松江病院
呼吸器病センター
〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号
電話 (0852) 21-6131(代)
医療連携室直通電話・FAX (0852) 24-7661
URL <http://www.hosp.go.jp/~matsue/>

小児科発達 専門外来	診療日: 毎週月~金曜日 内容と特色: ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけ、などの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
肺がん検診	診療日: 毎週月~金曜日 15:00~16:30 (要予約) 内容と特色: ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。料金5,250円(税込み)
睡眠時無呼吸 外来	診療日: 毎週木曜日 14:00~16:00 (要予約) 内容と特色: いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
息切れ外来	診療日: 毎週火曜日 13:00~15:00 (要予約) 内容と特色: 息切れの診断と治療を行います。
喘息 アレルギー外来	診療日: 毎週水・木 9:00~12:00 (要予約) (日本アレルギー学会専門医・指導医が担当) 内容と特色: 成人気管支喘息・花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
咳嗽 外来	診療日: 毎週水・木 9:00~12:00 (要予約) (咳嗽研究会会員が担当) 内容と特色: 3週間以上長引く、咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。声楽家・アナウンサー・教師など声を重要な手段とされる方の悩み。
禁煙 外来	診療日: 毎週水・木 9:00~12:00 (要予約) (日本呼吸器学会専門医・指導医が担当) 内容と特色: 禁煙を志す方の検査、診断と相談に応じます。
アスベスト 外来	診療日: 毎週水・木 8:30~11:00 (要予約) (日本呼吸器学会専門医・指導医が担当) 内容と特色: 石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行う。
嚔下障害 外来	診療日: 嚔下障害外来 (要予約) 毎週火曜日 8:30~
神経難病 外来	診療日: 神経難病外来 毎週火・木曜日 8:30~
筋ジストロフィー 専門外来	診療日: 毎週木曜日(予約=指導室まで) 8:30~ 内容と特色: 筋ジスト病棟医が診療に当たります。診断から在宅ケアのための医療や介護・福祉サービスの紹介など専門的、総合的外来です。在宅患者に必要な定期的精査短期入院(筋ジストック)も受け付けています。
セカンド オピニオン 外来	診療日: 完全予約制(紹介状必須) 内容と特色: 呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジスト)の専門医(医長)が担当致します。